



第 2630 地区

写真 修道院




第 47 期会長テーマ  
みんなでつくる奉仕の心

例会日 毎週木曜日  
事務局 多治見市新町 1-23  
産業文化センター 4F  
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101  
E-mail n-rc@joy.ocn.ne.jp  
HP <http://tajiminishi.jimdo.com/>  
会長 各務和宏 幹事 山田正史

## 第 2243 例会 2012 年 7 月 19 日 (木)

### 本日のプログラム

点 鐘  
ロータリーソング それでこそロータリー  
四つのテスト  
会長挨拶  
出席・スマイル報告  
委員会報告  
幹事報告   
卓 話 伊藤義弘君  
「中国に進出してみて」  
点 鐘

・ 上半期地区関係資金・ガバナー事務所  
分担金送金依頼

- ① 地区運営拠出金
- ② ガバナー連絡会議
- ③ R 文庫運営委員会
- ④ 地区社会奉仕積み立て
- ⑤ R 財団研究グループ交換積み立て
- ⑥ ガバナー事務所分担金
- ⑦ ガバナー月信
- ⑧ 地区大会分担金
- ⑨ ガバナーエレクト事務所分担金

・ 米山記念奨学会上半期寄付金依頼  
・ 国際ロータリー上半期人頭分担金依頼

### 今後の予定

- ・ 7 月 26 日 (木) お祝い例会 点鐘 12:30
- ・ 8 月 2 日 (木) 定例理事会 11:30  
例会卓話 地区委員 石垣智康君  
「CLPについて」
- ・ 8 月 9 日 (木) ガバナー補佐訪問  
クラブアッセンブリー

### 着信書類

- ・ 土岐中央 RC より  
30 周年記念 DVD 拝受
- ・ 多治見少年少女合唱団友の会より  
協賛金へのお礼状
- ・ 会員基盤増強維持報告書の依頼

## 各務会長挨拶 NO. 2

第47期が始まって、2週間が過ぎようとしています。やっと地に足がついた感じがしてきております。つい先日ロータリー財団の研修セミナーに出席しました折、感じましたことは、今ロータリー全体が変革の時期にきており、今までのロータリーの負の部分を見直し、ロータリー概念である奉仕をしやすいシステムに変わろうとしている時期であることを痛感しました。多治見西ロータリークラブにおいても、皆さんの協力を得て、奉仕のしやすい環境に変えていけるよう、皆様と一緒に頑張りますのでよろしくお願いいたします。

### 先週の記録

- ◆ 出席報告（免除者4名内出席者1名）

出席者	欠席者	出席率
28名	7名	80.0%

- ◆ スマイル報告

投函者 16名 金額 16,000円

- ・国際奉仕としてお世話になります。松本昇
- ・各委員長様、一年間よろしくお願いいたします。

大岩順子

- ・山田正史さん、服部賢治さん、多治見市警察署協議会の委員就任お二人ともご苦労さんです。飯田さんの婿さんの石黒さんも会長就任ご苦労さんです。 各務成喜

### 委員会報告（ローターアクト・新世代委員会）

今期多治見RACは38期を迎え、地区を受け持ちます。その地区年次大会は来年6月9日産業文化会館で行われますが、規模を縮小し地味ながらも今後の模範となるような大会にしたいとクラブ員全員頑張っています。地区代表に昨年の会長の大江君、地区幹事に久木田君が出ます。久木田君は今期の多治見RACの会長を兼ねます。人員も11名まで拡大増強しましたが、5名が新人で尚且つ従来のメンバーもアクト歴3-4年と浅い彼らですが、その分前例にとらわれることなく全員協力してクラブ運営、年次大会に向かいます。どうぞ皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。（委員長 大澤大二）

## I. G. M. (Aグループ)

日時 : 7月19日(木) 18:00

場所 : 松 正

出席者: リーダー柘植途始江 サブリーダー松本昇  
R情報 佐藤八郎 執行部 各務和宏  
中島竹壽・服部賢治・山口寛・飯田利夫

### ロータリーへの道

ポールハリス著

#### 最初のロータリークラブ NO. 2

ドイツ料理、スカンジナビア料理、イタリア料理、ギリシャ料理やハンガリー料理といったレストランに行っても食べてみても、満足感はありませんでした。たまに知り合いはできても、本当の友達ではありませんでした。シカゴのミシガン湖畔は、水泳に来る人やピクニックに来る人で一杯で、シカゴで働いている何十万という人々のリクリエーションの場所としては大切な所でした。ですから誰でも無料で楽しめる公園や遊び場を作るために、私利私欲を離れて尽力している人々の不屈の努力には頭が下がりました。とにかくシカゴは何処へ行っても人で一杯でしたが、顔見知りはありませんでした。私には大切なものが一つ欠けていました。友達でした。哲学者エマーソンは「千人の友達を持っていても、一人も手放すことは出来ない」と言っています。私が居を構えたシカゴには最初は千人はおろか、友達は一人もいませんでした。人間は苦しんで初めて向上するものです。まず誰かが必要なものを心に描きどうやって実現しようかと苦労しなければ、構想はまとまるものではありません。これまで苦労したお陰で、私は人間には交友関係が必要なことに気が付きました。これは恐らく自然の摂理です。人間には人間同士のつきあひが必要なことがはっきりしました。このシカゴに住んでいる、何百人、何千人の人々が経験したことを、私も経験していることが分かりました。（つづく）